



3月20日～3月26日

春の火災予防運動



春の火災予防運動を実施します。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

✓ 地震火災への対策を

大規模地震発生時には、火災が同時に多くの地点で発生するおそれがあるため、消防力が不足し、住宅密集地などでは大規模な火災の危険性が高くなります。また、地震に伴い、大規模かつ長時間に及ぶ停電が発生し、停電からの復旧後の再通電時に火災が発生する、いわゆる「**通電火災**」の発生が懸念されます。

このような「**通電火災**」が発生した場合、住民が避難所などへ避難しており、出火時の初期消火が行えないといったおそれがあります。

「通電火災」のメカニズムとは？

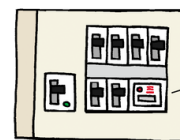
- ・ 配線が転倒した家具などの下敷きになり、損傷した配線に再通電することで、発熱発火する。
- ・ 落下したカーテンや洗濯物といった可燃物がヒーターに接触した状態で再通電することで、着火する。
- ・ 転倒したヒーターや照明器具などが可燃物に接触した状態で再通電することで、着火する。

「通電火災」を防ぐためのポイントは！

- ・ 家具等の転倒防止対策（固定）を行う。
- ・ 地震を感知すると自動的にブレーカーを落とす「**感震ブレーカー**」を設置し、電気の再通電を防止する。
- ・ ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。

感震
ブレーカー

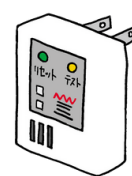
分電盤タイプ



感震センサー



簡易タイプ



コンセント
タイプ

✓ ごみの焼却や野焼きの拡大による火災に注意

⚠ 屋外でのごみの焼却行為は禁止されています。

剪定木や雑草、家庭ごみ等は焼却せず、指定のごみステーションに出すなど、適正に処理してください。



例外規定に該当した場合でも次のことに注意してください！

その場を離れない！

- ・ 焼却行為をする場合には、必ず監視を継続し、やむを得ずその場を離れる場合は、一旦消火する。

消火用の水バケツなどを用意する！

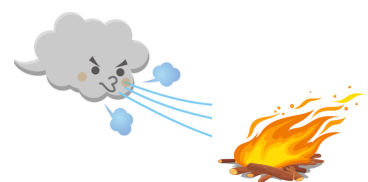
- ・ 燃え広がってしまったとき、又は緊急で消火する必要がある場合に備えて、水バケツなどを用意して消火ができる準備をする。

天候により中止する！

- ・ 強風、乾燥注意報や警報が発令されているときは中止する。火の粉や灰は、風速2m程度の風でも遠くに飛ぶことがあり、風のない日でも天候が急変する場合があるので注意してください。

その他

- ・ 気象状況や付近住民の生活に影響（煙・臭いなど）をおよぼす場合は、消火していただく場合があります。



リチウムイオン蓄電池からの火災に注意

全国的にリチウムイオン蓄電池を起因とする火災が増えています。嶺北消防組合管内においても、令和6年中にリチウムイオン蓄電池を起因とする火災が1件発生しています。

「リチウムイオン蓄電池」とは？

リチウムイオン蓄電池は、繰り返し充電、放電できる電池のことで、二次電池の一つです。この電池は、主に小型で大量の電力を必要とする製品（スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど）に使用され、他の二次電池と比べて高容量、高出力、軽量という特徴があります。

「リチウムイオン蓄電池」火災のメカニズムとは？

リチウムイオン蓄電池は、電解液として可燃性の有機溶剤を使用しているため、衝撃などにより内部の正極板と負極板が短絡し、急激に加熱後、揮発した有機溶剤に着火して出火に至ります。

「リチウムイオン蓄電池」火災を防ぐためのポイントは！

- 取扱説明書どおりに使用し、**圧力**や**衝撃**を与えない。
- 充電器やバッテリーは、付属品やメーカー指定のものを使用する。
- 高温や水に触れる場所を避けて、適切に保管する。
- 膨張、異音、異臭**などの異常がある場合は使用しない。
- 一般ごみ**に混ぜるとごみ収集車の火災につながるため、絶対に他のごみに混ぜない。
- PSEマーク**（安全基準の検査に合格した電気製品に表示されるマーク）が付いていて、製造・販売元が明示されている製品を使用する。



住宅用火災警報器の設置と点検

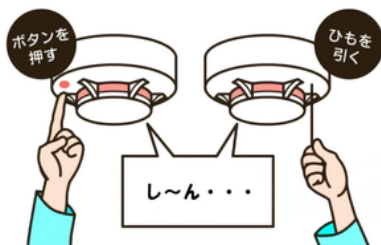
住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を感知して警報音や音声で、いち早く火災の発生を周囲に知らせることで、早い段階での避難と初期消火、119番通報が可能となり火災による被害を軽減することに繋がります。そのためにも、住宅用火災警報器の定期的な**維持管理（点検）**は大変重要となります。

維持管理（点検）の方法は？

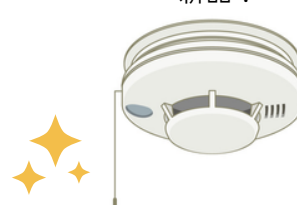
点検用のボタンを押すか、ひもを引いて動作確認を行います。動作確認を行っても機器に反応がなければ、本体の故障や電池切れが疑われます。

本体の故障はもちろん、電池切れや設置から10年を経過したものについては、古くなるとセンサーなどが劣化し火災を感知しなくなることがありますので、**新品への交換**をお願いします。

10年経過…



新品！



住宅用火災警報器の効果は大きい！

総務省消防庁調べによると、住宅火災における被害状況を分析したところ、住宅火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、死者数と損害額は半減、焼損床面積は**約6割減少**した結果となり、住宅用火災警報器を設置することで、**火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少**することが認められました！

設置がまだの方は、少しでも早く設置していただきますようお願いします。

重要！